

11 Webプログラム換気

一つの住戸に複数の全般機械換気設備を設置した場合の評価方法・・・

1.換気設備の方式・・・

下表の優先順位の最も高い（値の小さい）全般機械換気設備を代表として評価します。

優先順位	全般換気設備の種類
1	ダクト式第1種換気設備
2	ダクト式第2種 or ダクト式第3種換気設備
3	壁付け式第1種換気設備
4	壁付け式第2種 or 壁付け式第3種換気設備

2.省エネルギー対策をしている場合・・・

複数の全般機械換気設備が「省エネルギー対策」をしている場合には、アまたはイの方法で評価します。

ア：換気設備の仕様から消費電力を求める方法・・・

①ダクト式換気システム

下表の「基本となる比消費電力」と「省エネルギー対策の効果率」を乗じた値の、最も大きいものを代表として評価します。

ダクト式第1種	熱交換あり	0.7	×	内径75mm以上のダクトのみ使用	直流	0.455
	熱交換なし	0.5			交流 または 直流と交流の合計	0.7
				上記以外	直流あるいは交流	1.0
基本となる比消費電力				省エネルギー対策の効果率		
ダクト式第2種 ダクト式第3種		0.4	×	内径75mm以上のダクトのみ使用	直流	0.36
					交流 または 直流と交流の合計	0.6
				上記以外	直流あるいは交流	1.0

②壁掛け式換気システムの場合

下表に示す比消費電力を用います。

全般換気設備の種類	比消費電力
壁付け式第1種換気（熱交換あり）	0.7
壁付け式第1種換気（熱交換なし）	0.4
壁付け式第2種換気	0.3
壁付け式第3種換気	0.3

また、送風機と組み合わせて使用する屋外端末を特定し、その組み合わせに関する有効換気量（第2種 or 第3種の場合は単に風量）及び消費電力がカタログ等に明記されている場合にはその値を用いることができます。

イ：換気設備の消費電力及び設計風量から比消費電力を求める方法・・・

比消費電力（SFP）＝複数の換気設備の消費電力（W）の合計 ÷ 複数の換気設備の設計風量（m³/h）の合計

●有効換気量率

- ・複数の換気設備がある場合の有効換気量率は、最も小さい有効換気量率を代表として評価します。
- ・複数の換気設備の一つが第1種換気で他が第2種換気設備あるいは第3種換気設備の場合は、第1種換気設備の有効換気量率を選びます。

●熱交換換気設備

- ・複数の換気設備がすべて熱交換型で、なおかつすべての有効換気量率が85%以上で熱交換率が65%以上を満たしている場合に限り、「熱交換換気を採用する」と評価できます。